

飼育環境の改善に

臭気対策に！ 敷料の節約に！ 発酵の促進に！

SKKワンダー

〈酵素発酵脱臭剤〉



- アンモニア、硫化水素などの有害ガスの発生を抑えます。
- 酵素の力で畜糞、スカム、汚泥等を強力に分解、悪臭を取り除きます。
- 堆肥作りに使用すれば、発酵が促進され、堆肥の仕上がりを早め、良質の堆肥が出来上がります。
- ウジ、ハエなどの発生を抑えます。

環境に
やさしい

SKKワンダー 1NET 20kg入
成分が新鮮な果実、野菜、野草、海藻から抽出された酵素を数多く使用しています。

夏場や梅雨時は、もちろん悪臭対策として、抜群の効果を発揮します。冬場は、防寒対策として畜舎を閉め切ることが多くなり、畜舎内の換気が悪くなって、アンモニア濃度が上昇し、病原体から呼吸器を守る気管粘膜に障害が起こり、肺炎などの呼吸器系の病原体に対して防御能力が低下し、病気に罹る割合が高くなってきます。

「SKKワンダー」は有害ガス、特にアンモニアガスの分解に効果を発揮しますので、畜舎を閉め切った状態でも、アンモニア濃度を低く抑えることができ、それによって冬場に多い肺炎などの発生を減らすことができます。

また、飼育環境を改善してくれますので、環境悪化によるストレスによって起こる下痢、食欲減退などが少なくなります。



使用方法

1. オガコの投入時から入れる場合……オガコ1立米に対し「SKKワンダー」を4～5kg
2. 敷材の上に振る場合……1坪に200～300g / 7～10日
3. パンクリーナーに振る場合……朝夕に3～5kg。 ※1頭あたり100gが目安です。
4. 糞尿槽1㎡に対し、4～5kgの割合で投入します。


使用上の注意

原料の海藻にヨードや野草成分に葉緑素、鉄分などが含まれるため、衣服に付着すると生地を変色させることがあります。ご注意ください。

製造元 株式会社 昭和酵素研究所

● 内容量 / 20kg ● 形状 / 粉末 ● 包装 / 紙袋

SKK ワンダー牛使用事例




A 牧場（乳牛）
 経営規模：成牛40頭、子牛30頭
 使用方法：バキュームで汲み取る前日に尿貯め（10トン）にSKK ワンダーを40kg投入。一日の尿の量は約2トン～1.5トン
 お客様の声：バキュームで尿を畑に散布するが、臭いが無くなりびびりした。
 風下に民家があっても安心である。



S 牧場（肥育牛）
 経営規模：F1牛 約280頭 10坪に6頭飼育。
 使用方法：オガ粉入れ替え時に10坪当たりSKK ワンダーを1.5kg～2.0kg散布。
 オガ粉は10坪当たり約1立平使用。
 お客様の声：SKK ワンダー散布後約1～2時間後にはオガ粉の色が黒くなりびびり。発酵が進み、床が乾いているので今まで、約7日おきにオガ粉を交換していたが10日おきで良くなる。アンモニア臭が無くなり、牛が刺激臭でのどを痛めなくなるので風邪を引きにくくなったように思います。オガ粉の節約、牛の健康増進により経費節減ができる。SKK ワンダーは速効的な効果があり満足しています。
 また、臭いの少ない堆肥で堆肥の差別化ができないか期待しています。

SKK ワンダー養豚使用事例



三ヶ日町 I 養豚場
 約60坪のハウス豚舎に約100頭飼育。
 水分調整材としてオガ粉を約2.5cmの厚さに敷き詰める。
 SKK ワンダーを豚舎に45kg散布2.5日後に45kg散布をする。今まで床を1ヶ月で交換していたのが2ヶ月もつようになる。床の発酵が進み糞の量も減り、悪臭もしなくなる。今までいろんな資材をつかったがあまり効果が無かった。SKK ワンダーの効果に満足！



経営規模：母豚2000頭
使用方法：3m×5m×0.4m 一豚房 15頭前後 5㎡のオガコに20kgの「SKK ワンダー」を投入する（臭うようになったら、1坪200g程度を散布する。）
 お客様の声：最近では薬剤の規制や締切った環境により、事故率が高くなっていたのですが、「SKK ワンダー」を使用するようになって、事故率が大幅に減った。豚舎内の臭いはしなくなりました。

SKK ワンダー養鶏使用事例



養鶏場（ブロイラー）
 経営規模：20万羽
 使用方法：SKK ワンダーを坪200g床敷き。アンモニア臭が分解される
 お客様の声：呼吸器系の病気対策になると思う。糞処理が楽になった。堆肥の発酵温度も以前より上がっている



養鶏場（採卵鶏）
 経営規模：24万羽
 使用方法：糞1トンに対してSKK ワンダーを5kg添加。アンモニア臭が分解され、作業環境が改善される
 お客様の声：悪臭に対しては非常に即効性がある。臭いがしないので堆肥は野菜農家に好評。悪臭がすると、まず引き取ってくれないのが現状なので、助かっている

【状況に応じて使用方法をアドバイスいたします】

○上記例は、あくまでも参考事例です。あなたの農場の状況に応じて、使用方法をご提案いたします。その他に、堆肥や浄化にすぐれた微生物群—「**バイオ・シード**」、水分調整や有用微生物の棲家、悪臭吸着剤—「**サンバルファー**」があります。どうしてもうまくいかない場合は、これらを組み合わせることで安価な最良の成果を上げることができます。まずは、ご相談ください。

●お問い合わせ



文化社環境事業株式会社

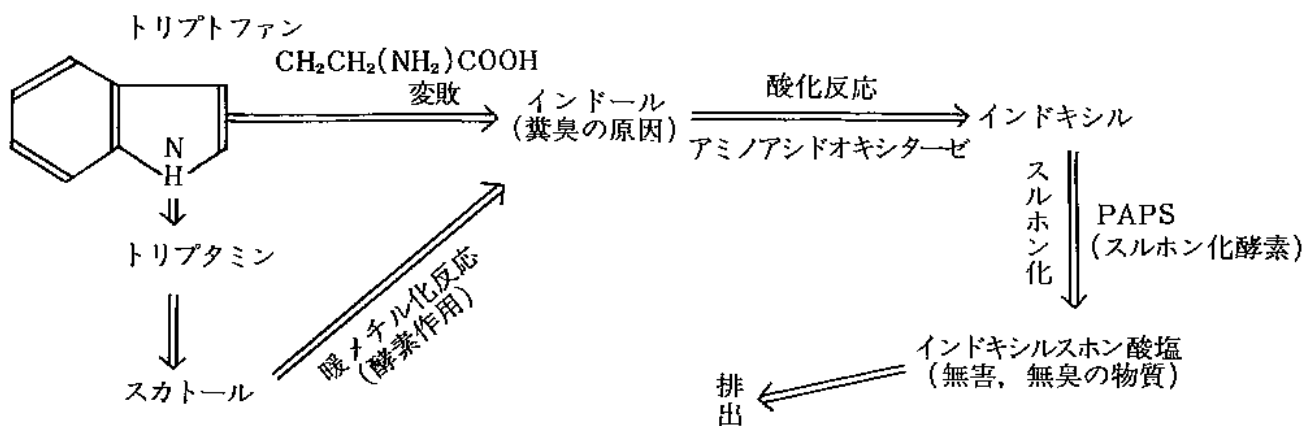
鹿児島市新栄町 22-26 TEL099-259-1177

夏場や梅雨時は、もちろん悪臭対策として、抜群の効果を発揮します。

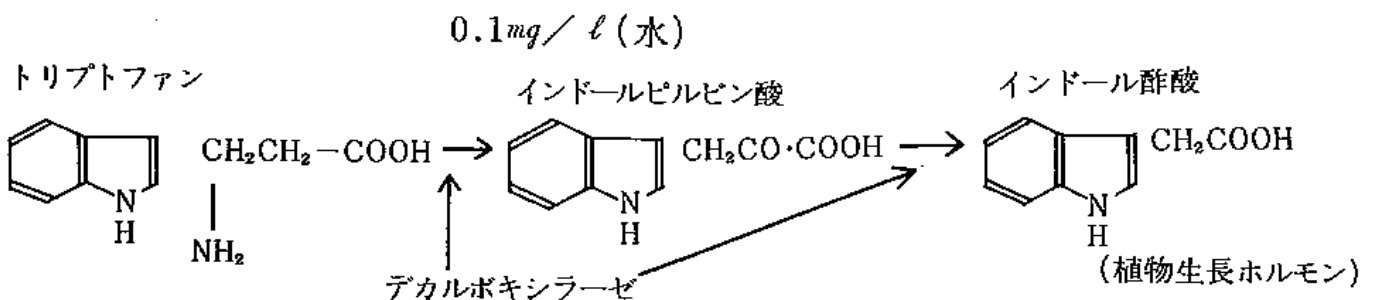
冬場は、防寒対策として畜舎を閉め切ることが多くなり、畜舎内の換気が悪くなって、アンモニア濃度が上昇し、病原体から呼吸器を守る気管粘膜に障害が起こり、肺炎などの呼吸器系の病原体に対して防御能力が低下し、病気になる割合が高くなってきます。

「SKKワンダー」は有害ガス、特にアンモニアガスの分解に効果を発揮しますので、畜舎を閉め切った状態でも、アンモニア濃度を低く抑えることができ、それによって冬場に多い肺炎などの発生を減らすことができます。

また、飼育環境を改善してくれますので、環境悪化によるストレスによって起こる下痢、食欲減退などが少なくなります。



「SKKワンダー」に含まれる酵素の働きは、上記のように畜糞のインドールを分解して排出されるので糞の悪臭がなくなります。



「SKKワンダー」を使用した堆肥は植物の生育を促進する効果があります。そのわけは、トリプトファンが酵素の働きで上記のインドール酢酸ができるからです。